

事業の概要及び事前評価に係る資料

事業名	国土交通省所管 防災・安全交付金事業 米子境港都市計画道路事業 3・4・32号 両三柳中央線		
路線名 地区名	両三柳中央線（一般県道東福原樋口線）	事業箇所	米子市両三柳
1. 事業概要			
(1)事業目的 (目標、効果)	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全確保、自動車交通の円滑化を図る。 (幅員狭小、クランク形状(線形・見通し不良)、歩道・右折車線未整備の解消) ・市道安倍三柳線の計画(H25に米子市が都市計画決定)に合わせ、道路整備を行うことにより、周辺幹線道路の交通負荷の軽減を図る。 ・救急医療機関(博愛病院)へのアクセス改善を図る。 <p>【必要性】</p> <p>○沿道状況 整備区間西側は人家が建ち並んでおり、近傍には加茂小学校、加茂中学校及び博愛病院が立地する等、通学・通院・地域生活の交通が集中している。また整備区間東側においては、農地と商業施設に利用されている。</p> <p>○現道状況 1車線の歩道なし区間が約0.4km、1車線の片側歩道区間が約0.7km、2車線の片側歩道区間が約1.3kmとなっており、歩道が未整備のため歩行者・自転車が危険な状態となっている。 最小幅員は車道W=5.3m、市道米子自衛隊駐屯地線との交差点付近はクランク形状をなしており、救急医療機関(博愛病院)へのアクセス等、円滑な交通の妨げとなっている。 現道の交通量は7,706台/日(H22交通量調査)と多く、県道両三柳後藤停車場線及び県道両三柳西福原線との交差点では右折車線がないため、慢性的な渋滞が発生している。</p> <p>○事故状況 人身事故件数115件 (H8～H23:うち死亡事故2件、重傷事故13件)</p> <p>○周辺整備 市道安倍三柳線は現在米子市が整備中であり、今後本地域と交差することになるため、交通量増加に対応する必要がある。</p> <p>【効果】</p> <p>○歩行者・自転車の安全確保、自動車交通の円滑化 自歩道整備により歩行者・自転車の安全確保を図る。なお、バイパス部については、現道交通をバイパスに転換し、狭い現道の交通量を減少させることにより交通安全の向上を図る。 クランク形状の解消、交差点への右折車線設置等により自動車交通の円滑化と渋滞緩和を図る。</p> <p>○周辺幹線道路の交通負荷の軽減 市道安倍三柳線の計画に合わせて、道路整備することにより周辺幹線道路の交通負荷の軽減が図られる。</p> <p>○救急医療機関(博愛病院)へのアクセス向上 クランク形状の解消等により緊急車両の到着時間の短縮、来院者の安全性・快適性の向上を図る。</p>		

<p>(2) 事業内容</p>	<p>○計画延長：L = 2, 400 m (バイパス及び現道拡幅) ○計画幅員：W = 6.0 (16.0) m (完成2車線) W = 6.0 (17.0) m (交差点部)</p> <table border="1" data-bbox="403 389 1410 584"> <tr> <td>道路規格</td> <td>第4種第2級</td> </tr> <tr> <td>設計速度</td> <td>50 km/時</td> </tr> <tr> <td>計画交通量</td> <td>6, 100 台/日 (H42交通量推計) ※バイパス区間</td> </tr> <tr> <td>現況交通量</td> <td>7, 706 台/日 (H22交通量調査)</td> </tr> </table> <p>※現道交通量 7, 706 台/日 → 整備後：2, 000 台/日</p>	道路規格	第4種第2級	設計速度	50 km/時	計画交通量	6, 100 台/日 (H42交通量推計) ※バイパス区間	現況交通量	7, 706 台/日 (H22交通量調査)																			
道路規格	第4種第2級																											
設計速度	50 km/時																											
計画交通量	6, 100 台/日 (H42交通量推計) ※バイパス区間																											
現況交通量	7, 706 台/日 (H22交通量調査)																											
<p>(3) 事業計画期間及び事業費</p>	<p>○事業計画期間：平成26年度～平成33年度 ○総事業費：2, 980, 000 千円</p> <table border="1" data-bbox="403 875 1474 1229"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費</th> <th>事業概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>30, 000</td> <td>測量設計</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>200, 000</td> <td>測量設計、用地補償</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>530, 000</td> <td>用地補償、改良工事</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>760, 000</td> <td>用地補償、改良工事</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>630, 000</td> <td>用地補償、改良工事</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>540, 000</td> <td>改良工事</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>190, 000</td> <td>改良工事</td> </tr> <tr> <td>33</td> <td>100, 000</td> <td>改良工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>○財源内訳：国費70% 県費23.3% 市負担6.7%</p>	年度	事業費	事業概要	26	30, 000	測量設計	27	200, 000	測量設計、用地補償	28	530, 000	用地補償、改良工事	29	760, 000	用地補償、改良工事	30	630, 000	用地補償、改良工事	31	540, 000	改良工事	32	190, 000	改良工事	33	100, 000	改良工事
年度	事業費	事業概要																										
26	30, 000	測量設計																										
27	200, 000	測量設計、用地補償																										
28	530, 000	用地補償、改良工事																										
29	760, 000	用地補償、改良工事																										
30	630, 000	用地補償、改良工事																										
31	540, 000	改良工事																										
32	190, 000	改良工事																										
33	100, 000	改良工事																										
<p>(4) 事業根拠法令、関連事業、特記事項等</p>	<p>○根拠法令：道路法、都市計画法 ○関連事業：市道安倍三柳線 (平成25年度都市計画決定) ○景観評価該当事業</p>																											

2. 事前評価に関わる資料	
(1)合目的性	<ul style="list-style-type: none"> ・自歩道整備により歩行者・自転車の安全確保を図る。なお、バイパス部については、現道交通をバイパスに転換することにより現道部の交通安全の向上を図る。 ・クランク形状の解消、交差点への右折車線設置等により自動車交通の円滑化と渋滞緩和を図る。 ・市道安倍三柳線の計画に合わせ、道路整備することにより周辺幹線道路の交通負荷の軽減が図られる。 ・クランク形状の解消等により救急医療機関（博愛病院）へのアクセス向上を図る。
(2)適切性	<ul style="list-style-type: none"> ・線形・見通し不良を解消できるルートを選定する。 ・現道を使用できる区間は極力活用し、整備コストを縮減したルートを選定する。 ・救急医療施設（患者用駐車場）への影響を避け、住民及び来院患者が安全に病院へアクセスできるルートを選定する。
(3)代替案の比較検討内容	<p>○考えられる3ルートの比較検討</p> <p>第1案 現道拡幅案 ：事業費が極めて高額</p> <p>第2案 博愛病院南側バイパスルート ：第3案より高額であるが、線形がよい 地元や病院と円滑な合意形成が可能</p> <p>第3案 博愛病院北側バイパスルート ：病院の患者用駐車場を分断することになる 住民や病院との合意形成が困難</p> <p>→ 評価結果：総合的に判断し、第2案を選定する。</p>
(4)コスト縮減の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・博愛病院南側バイパスルートの法線を決定するにあたり、病院建屋・高圧鉄塔を避けて、最も経済的な法線を選定する。 ・残土及びコンクリート殻については大沢川の埋め戻しに流用し処分費の低減を図る予定である。 ・再生資材（砕石・アスファルト等）を使用する。
(5)環境への影響・配慮（環境への対応）	<p>【想定される影響】</p> <p>① 工事中の騒音・振動による影響</p> <p>② 工事中の濁水による影響</p> <p>③ 建設副産物の処理</p>
	<p>【影響を回避又は軽減する方法】</p> <p>① 低騒音・低振動工法、同建設機械の採用による対策を実施</p> <p>② 沈砂池等の濁水対策を実施</p> <p>③ 建設発生土の有効利用、再生資源の利用促進、廃棄物の発生抑制、分別の徹底、再資源化、適正処理を推進</p>

<p>(6) 現在の状況</p>	<ul style="list-style-type: none">○現在予備設計業務委託中○景観評価 景観アドバイザー等への意見聴取（調査計画段階）済（7 / 29）○地元説明状況 米子市（6 / 19）・博愛病院及び大沢川改良区（6 / 26）説明済 加茂地区・河崎地区の自治会長会へ説明済（7 / 24） 8月18日より地区別説明会を実施（12自治会及び事業者）
------------------	--

2. 課題

3・4・32号両三柳中央線

《課題》

- (1) 歩行者・自転車の安全確保、自動車交通の円滑化
(車道幅員狭小(最小幅員5.3m、クランク形状、歩道・右折車線未整備の解消)
- (2) 市道安倍三柳線の整備による今後の交通量増加への対応
- (3) 救急医療機関(博愛病院)へのアクセス改善



3. 現況写真

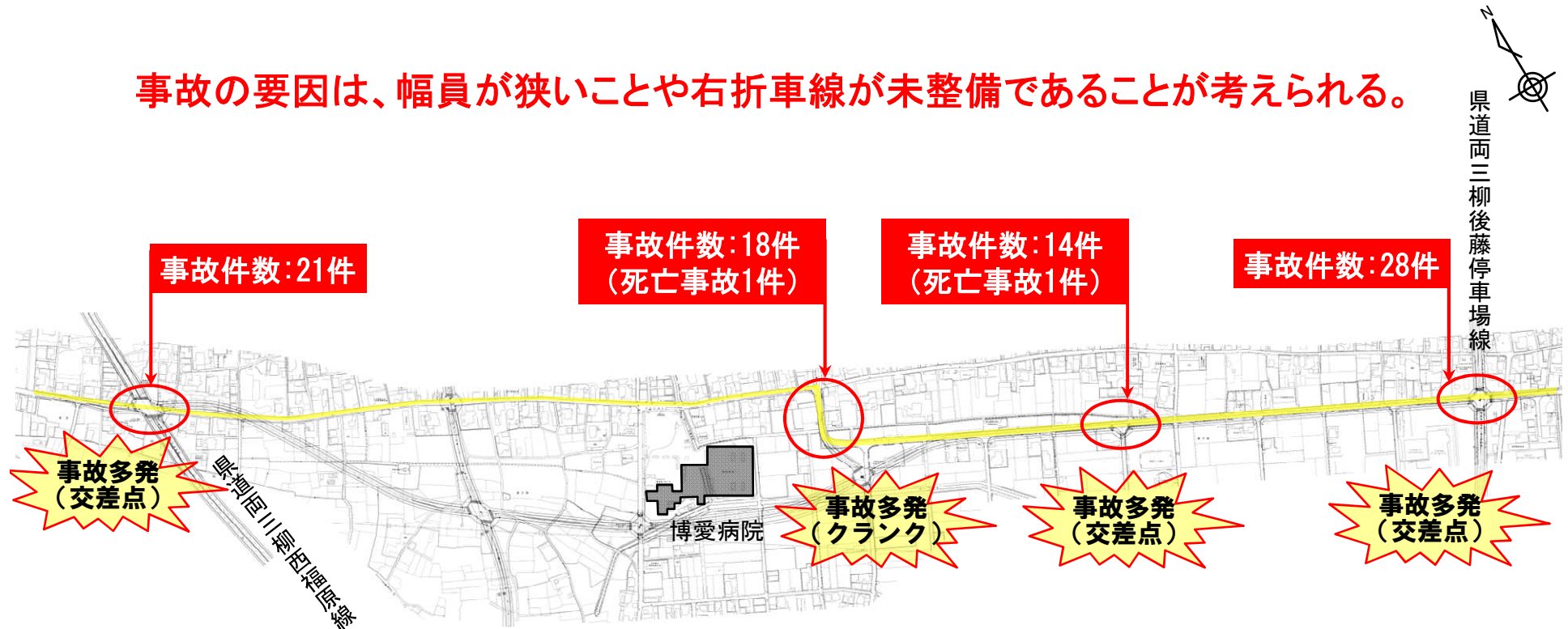
3・4・32号両三柳中央線



4. 事故状況

3・4・32号両三柳中央線

事故の要因は、幅員が狭いことや右折車線が未整備であることが考えられる。



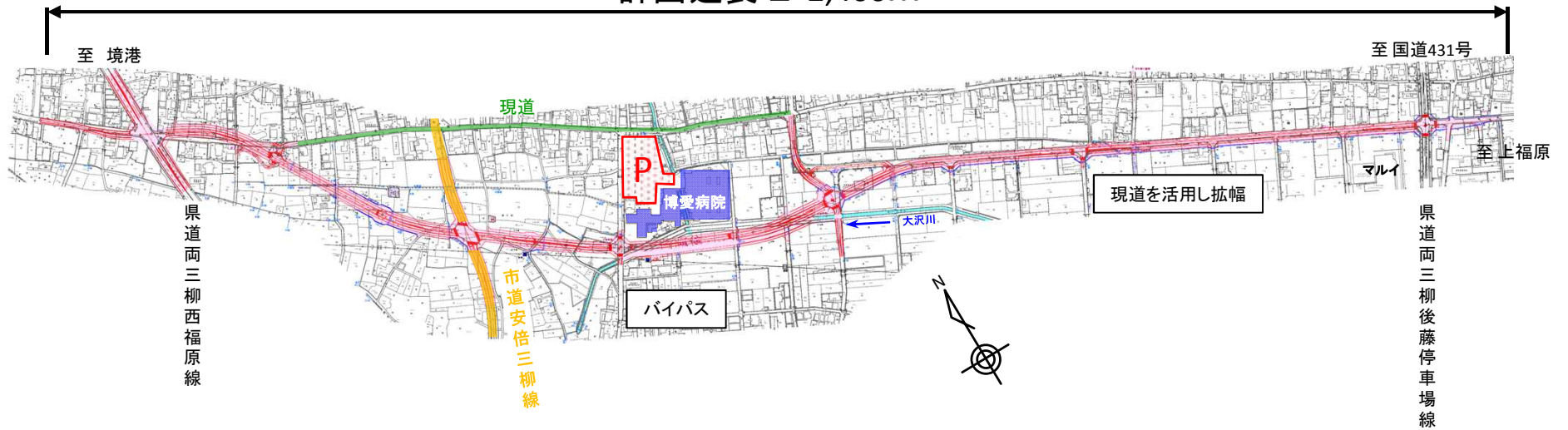
平成8年～平成23年の間に、死亡事故2件、重傷事故13件を含む人身事故115件が発生している。

5. 平面図・断面図

3・4・32号両三柳中央線

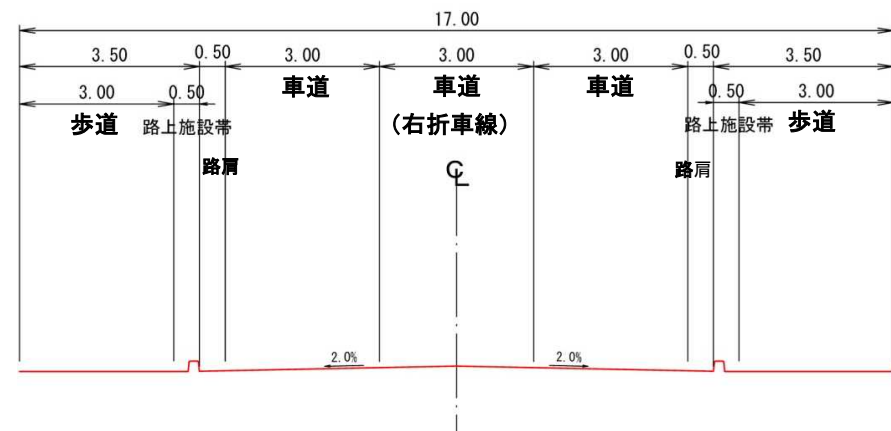
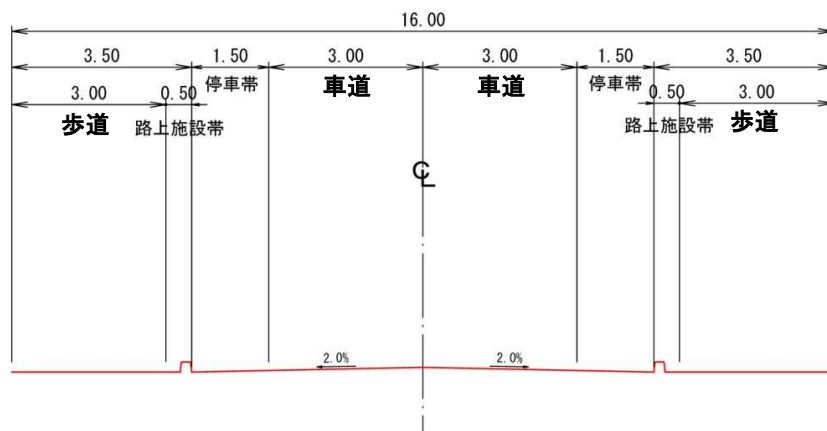
平面図

計画延長 L=2,400m



標準断面図 (単路部)

標準断面図 (交差点部)



6. 事業の内容

3・4・32号両三柳中央線

- 計画延長 : L=2,400m (バイパス及び現道拡幅)
- 計画幅員 : W=6.0(16.0)m (完成2車線)
W=6.0(17.0)m (交差点部)

道路規格	第4種第2級
設計速度	50km/時
計画交通量	6,100台/日 (H42推計) ※バイパス部
現況交通量	7,706台/日 (H22交通量調査)

※現道交通量 7,706台/日 → 整備後 : 2,000台/日

- 事業期間 : 平成26年度 ~ 平成33年度
- 総事業費 : 2,980,000千円

年度	事業費(千円)	事業概要
26	30,000	測量設計
27	200,000	測量設計、用地補償
28	530,000	用地補償、改良工事
29	760,000	用地補償、改良工事
30	630,000	用地補償、改良工事
31	540,000	改良工事
32	190,000	改良工事
33	100,000	改良工事

7. ルート比較

3・4・32号両三柳中央線

ルート平面図



	案1:現道拡幅案	案2:バイパス(南側ルート)	案3:バイパス(北側ルート)
延長	L=2.4km	L=2.4km	L=2.4km
コスト	3,834百万円	2,980百万円	2,450百万円
主な補償対象	住宅44軒、店舗13軒、薬局1軒	住宅6軒、店舗5軒、公民館1軒	住宅3軒、店舗7軒、薬局1軒
評価	(-) 極めて高価	(-) 案3に比べ高価 (+) 線形が良い。 (+) 住民や病院との円滑な合意形成が図られる。 採用	(+) 最も経済的 (-) 線形不良 (S字) (-) 住民や病院との合意形成の難航が予想される。 ①住宅地と病院の分断 ②病院の駐車場の狭小化